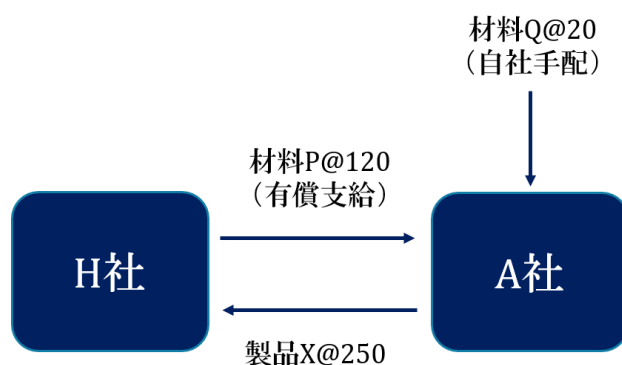


設例 1

自動車部品メーカーの A 社は、自動車メーカー H 社より、自動車部品 X の製造委託を受けている。

部品 X については、H 社が A 社に支給単価@120 円で材料 P を有償支給しており、A 社にて自社手配した材料 Q（購入単価：@20 円）を組み付け、A 社は H 社に完成品を単価@250 円で販売している。なお、H 社より有償支給されている材料 P は必ず部品 X のために使用しなければならず、他に転用することは認められていない。



X1 期の取引

- ① 材料 P 200 個 24,000 円 (@120 円) が H 社より有償支給され、150 個を使用し、50 個が期末に材料在庫として残っている。
- ② 材料 Q を 250 個 5,000 円 (@20 円) で外部より仕入れ、150 個を使用し、100 個が期末に材料在庫として残っている。
- ③ 材料 P と材料 Q を 150 個ずつラインに投入し、部品 X が 100 個が完成し、50 個（加工進捗度 40%）が仕掛品在庫として残っている。部品 X のラインでは、労務費が 4,500 円、減価償却費が 1,500 円発生している。（材料費、労務費、減価償却費以外の製造原価は発生しないと仮定する。）
- ④ 100 個完成した部品 X のうち 80 個 20,000 円 (@250 円) が H 社に売却され、20 個が製品在庫として残っている。
- ⑤ 期末在庫は以下の通りである。（期首在庫は存在しないと仮定する。）

	在庫数	材料単価		加工単価
		支給材	自社手配	
材料 P	50 個	120 円	-	-
材料 Q	100 個	-	20 円	-
仕掛品 X	50 個	120 円	20 円	20 円
製品 X	20 個	120 円	20 円	50 円

Q1. 貴社で実際に使用している勘定科目を使用して X1 期の仕訳を示してください。

① 材料 P 仕入時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額

② 材料 Q 仕入時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額

③ 労務費及び減価償却費の計上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
人件費（製）	4,500	現金預金	4,500
減価償却費（製）	1,500	減価償却累計額	1,500

④ 製品 X の売上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額

⑤ 在庫の計上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
材料（流動資産）			
仕掛品（流動資産）			
製品（流動資産）			

Q2. Q1の仕訳に基づきX1期末の決算書を作成してください。

製造原価報告書

材料費

期首材料棚卸高	_____	0
当期材料仕入高	_____	
合計	_____	
期末材料棚卸高	_____	_____
労務費		4,500
減価償却費		1,500
当期総製造費用		_____
期首仕掛品原価		0
合計		_____
期末仕掛品原価		_____
当期製品製造原価		_____

損益計算書

売上高	_____	
期首製品棚卸高	_____	0
当期製品製造原価	_____	
合計	_____	
期末製品棚卸高	_____	_____
売上総利益		_____

貸借対照表

売上債権	_____	仕入債務	_____
材料	_____		
仕掛品	_____		
製品	_____		

Q3. 新収益認識基準を適用した場合に考えられる仕訳を記載してください。

① 材料 P 仕入時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額

② 材料 Q 仕入時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額

③ 労務費及び減価償却費の計上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
人件費（製）	4,500	現金預金	4,500
減価償却費（製）	1,500	減価償却累計額	1,500

④ 製品 X の売上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額

⑤ 在庫の計上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
材料（流動資産）			
仕掛品（流動資産）			
製品（流動資産）			

Q4. Q3の仕訳に基づきX1期末の決算書を作成してください。

製造原価報告書

材料費

期首材料棚卸高	_____	0
当期材料仕入高	_____	
合計	_____	
期末材料棚卸高	_____	_____
労務費		4,500
減価償却費		1,500
当期総製造費用		_____
期首仕掛品原価		0
合計		_____
期末仕掛品原価		_____
当期製品製造原価		_____

損益計算書

売上高		_____
期首製品棚卸高	_____	0
当期製品製造原価	_____	
合計	_____	
期末製品棚卸高	_____	_____
売上総利益		_____

貸借対照表

売上債権	_____	仕入債務	_____
材料	_____		
仕掛品	_____		
製品	_____		
その他資産	_____		

A1. 貴社で実際に使用している勘定科目を使用して X1 期の仕訳を示してください。

① 材料 P 仕入時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
材料費（有償支給品）	24,000	買掛金（有償支給品）	24,000

② 材料 Q 仕入時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
材料費（自社手配）	5,000	買掛金（自社手配）	5,000

③ 労務費及び減価償却費の計上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
人件費（製）	4,500	現金預金	4,500
減価償却費（製）	1,500	減価償却累計額	1,500

④ 製品 X の売上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
売掛金	20,000	売上高	20,000

⑤ 在庫の計上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
材料（流動資産）	8,000	主要材料費	8,000
仕掛品（流動資産）	8,000	当期総製造費用	8,000
製品（流動資産）	3,800	当期製造原価	3,800

A2. Q1 の仕訳に基づき X1 期末の決算書を作成してください。

製造原価報告書

材料費

期首材料棚卸高	<u>0</u>	
当期材料仕入高	<u>29,000</u>	
合計	<u>29,000</u>	
期末材料棚卸高	<u>8,000</u>	<u>21,000</u>
労務費		<u>4,500</u>
減価償却費		<u>1,500</u>
当期総製造費用		<u>27,000</u>
期首仕掛品原価		<u>0</u>
合計		<u>27,000</u>
期末仕掛品原価		<u>8,000</u>
当期製品製造原価		<u>19,000</u>

損益計算書

売上高		<u>20,000</u>
期首製品棚卸高	<u>0</u>	
当期製品製造原価	<u>19,000</u>	
合計	<u>19,000</u>	
期末製品棚卸高	<u>3,800</u>	<u>15,200</u>
売上総利益		<u>4,800</u>

貸借対照表

売上債権	<u>20,000</u>	仕入債務	<u>29,000</u>
材料	<u>8,000</u>		
仕掛品	<u>8,000</u>		
製品	<u>3,800</u>		
資産合計	<u>39,800</u>		

A3. 新収益認識基準を適用した場合に考えられる仕訳を記載してください。

① 材料 P 仕入時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
有償支給に係る資産	24,000	買掛金（有償支給品）	24,000

② 材料 Q 仕入時の仕訳

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
材料費（自社手配）	5,000	買掛金（自社手配）	5,000

③ 労務費及び減価償却費の計上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
人件費（製）	4,500	現金預金	4,500
減価償却費（製）	1,500	減価償却累計額	1,500

④ 製品 X の売上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
売掛金	20,000	売上高	10,400
		有償支給に係る資産	9,600*

* 売却した 80 個×支給材の単価@120 円

⑤ 在庫の計上

借方		貸方	
勘定科目	金額	勘定科目	金額
材料（流動資産）	2,000	主要材料費	2,000
仕掛品（流動資産）	2,000	当期総製造費用	2,000
製品（流動資産）	1,400	当期製造原価	1,400

A4. Q3の仕訳に基づきX1期末の決算書を作成してください。

製造原価報告書

材料費

期首材料棚卸高	<u>0</u>	
当期材料仕入高	<u>5,000</u>	
合計	<u>5,000</u>	
期末材料棚卸高	<u>2,000</u>	<u>3,000</u>
労務費		<u>4,500</u>
減価償却費		<u>1,500</u>
当期総製造費用		<u>9,000</u>
期首仕掛品原価		<u>0</u>
合計		<u>9,000</u>
期末仕掛品原価		<u>2,000</u>
当期製品製造原価		<u>7,000</u>

損益計算書

売上高		<u>10,400</u>
期首製品棚卸高	<u>0</u>	
当期製品製造原価	<u>7,000</u>	
合計	<u>7,000</u>	
期末製品棚卸高	<u>1,400</u>	<u>5,600</u>
売上総利益		<u>4,800</u>

貸借対照表

売上債権	<u>20,000</u>	仕入債務	<u>29,000</u>
材料	<u>2,000</u>		
仕掛品	<u>2,000</u>		
製品	<u>1,400</u>		
有償支給に係る資産	<u>14,400</u>		
資産合計	<u>39,800</u>		